

8 美術科

(1) 観点別学習状況の評価例

<p>■教科の目標 ※『学習指導要領』 (平成29年告示)参照</p>	<p>知識及び技能</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。</p>	<p>思考力・判断力・表現力等</p> <p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>学びに向かう力人間性等</p> <p>美術の造形活動の喜びを味わい楽しく美しさや生命感を基に、表現したり鑑賞したりする学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>■教科の「評価の観点及びその趣旨」 ※『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』参照</p>	<p>知識・技能</p> <p>・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。</p>	<p>思考・判断・表現</p> <p>造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <p>美術の造形活動の喜びを味わい主体的に表現活動及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。</p>
<p>○授業の構想と学習評価</p>	<p>デザインや工芸などで考える知構想や動き、時間の経過等の効果や造形的な特徴を基に、イメージなどで捉えることを理解している。</p> <p>技意図に応じて自分の表現方法を追求し、制作手順を総合的に考え、見通しをもって表現している。</p> <p><評価方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・課題作品 ・定期考査 	<p>発想イメージを基に伝える相手や内容、社会の関わりなどから主題を生み出し、構図の効果と美しさなどを総合的に考え構想を練っている。</p> <p>鑑賞調和のとれた美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考え、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> <p><評価方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・レポート ・課題作品 ・定期考査 	<p>表現主体的に工夫し構想を練ったり、表現方法を追求して見通しをもって創造的に表現したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>鑑賞伝えたい場面やイメージの美しさを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p><評価方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習への取り組み ・課題作品 ・鑑賞レポート

(2) 年間指導計画

美術 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の想像活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

① 1学年

美術 第1学年の目標

- (1) 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を養う。
- (2) 対象を深く観察する力、感性や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や基礎的技能を身につけ、多様な表現方法や造形要素に関心を持ち、創意工夫し美しく表現する能力を養う。
- (3) 自然や美術作品などについて基礎的な理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じ取る鑑賞の能力を養う。

月	単元名	指導内容	評価材料
4	オリエンテーション (絵画) 紙のデッサンと変形(作品①)	授業への心構え、図画工作から美術へ 造形への入口(発想することの楽しさ、豊かさ)	<ul style="list-style-type: none"> • 授業の様子 • 作品①(発想力、表現技能) • 作品②(表現技法) • 鑑賞①(作品との出会い) • 作品③(混色技術) • 作品④(彩色技法、技能) • 定期考査
5	デッサンの基礎(作品②)	形のとらえ方(明暗表現による立体感の出し方)	
6	(鑑賞) 絵画の中をよく見ると(鑑賞①)	絵画彫刻に表現された世界との出会い	
7	(デザイン) 色彩の学習(作品③) 色彩実技(作品④)	色の3原色からたくさんの色をつくる。他 彩色技法、作品制作	
9	平面構成	構成美の要素 デザインの作り方 彩色技法	<ul style="list-style-type: none"> • 授業の様子 • 作品⑤(デザイン発想 彩色技法) • 定期考査
10	「箱から何かが?」(作品⑤)	作品完成	
11	(鑑賞) 伝統の中の動物達	地域に息づく文化を知る 地域の願いが育む造形との出会い	
12			
1	自分の守り神としての シーサー制作(作品⑥)	立体との出会い	授業の様子 <ul style="list-style-type: none"> • 作品⑥(立体作品への取り組み) • 学年末考査
2		粘土技法(彫塑) オリジナルシーサー制作	
3			

② 2学年

美術 第2学年の目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、豊かな生活を想像していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象を深く見つめる力、総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見解を深め、心豊かに生きることと美術のかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

月	単元名	指導内容	評価材料
4	オリエンテーション デッサンの基礎（作品①）	授業への心構え ワークシートによる学習	<ul style="list-style-type: none"> • 授業の様子 • 作品①（表現技法） • 作品②（表現技法、技能） • 作品③（立体表現発想） • 定期考査
5	（絵画） 「私の靴」（作品②）	鉛筆デッサンによる制作 （自分の靴＋絵画的表現）	
6			
7	（彫刻） 「球体ワールド」（作品③）	立体との出会い 物を立体でとらえ、表現する。	
9	1 学期続き	芯棒づくり、粘土制作、彩色 作品完成	<ul style="list-style-type: none"> • 作品③（立体表現取り組み） • 鑑賞①（作品との出会い。レポート） • 作品④（形や色彩の工夫） • 定期考査
10	（鑑賞） 絵の中をよく見ると（鑑賞①）	過去から現代美術へ	
11	（デザイン） 平面構成 「絵文字」（作品④）	金属との出会い 打ち出し技法	
12		豊かな発想から作品へ	
1	（絵画） 創造の世界を表す（作品⑤）	自分の思いの世界を表現する	<ul style="list-style-type: none"> • 作品⑤（心の世界の表現） • 学年末考査
2		表現技法 作品制作	
3			

③ 3学年

美術 第3学年の目標

- (1) 主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、豊かな生活を想像していく意欲と態度を高める。
- (2) 対象を深く見つめる力、総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。
- (3) 自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見解を深め、心豊かに生きることと美術のかかわりに関心をもち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。

月	単元名	指導内容	評価材料
4	オリエンテーション(1) (工芸) 2年次作品続き 「銅板の打ち出し」(作品①)	授業への心構え 金属との出会い、完成へ	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・作品①(表現技法技能) ・レポート ・作品②(表現技法技能) ・作品②(表現技法技能) ・定期考査
5	(鑑賞) 日本の美術	修学旅行へ向けて、(日本文化との出会い) 伝統工芸品、文化財の保存他)	
6	仏像を調べる(レポート作成)	仏像との出会い、調べ学習	
7	(絵画) 推しの仏像 「仏像を描く」(作品②)	推しの仏像、絵画制作	
9	1学期続き 卒業制作	作品完成	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・作品②(完成作品) ・作品③(画面組み立手、彫り、刷り) ・定期考査の得点 学習内容、課題に関する知識を理解していること
10	一版多色刷り版画(木版) 「私の世界」(作品③)	版画について、下絵制作、彫り、刷り	
11			
12			
1	デザイン 「遠近感を表す」(作品④)	遠近法を学ぶ(線遠近法、空気遠近法)	授業の様子 <ul style="list-style-type: none"> ・作品④(技法取得) ・学年末考査
2		作品制作(1点透視図法)	
3			